

令和5年3月10日

(一財)新潟県建設技術センター理事長 殿

研究助成事業者 つむぎ通り組合
つむぎ通り組合長 貝瀬幹夫



一般財団法人新潟県建設技術センター令和4年度研究助成事業成果報告書

令和4年3月16日付け建技 第 248 号で交付決定を受けた標記助成事業が完了したので、下記の通りその実績を報告いたします。

1. 採択事業 つむぎ通りにおける景観まちづくりに関する事業

研究成果報告について

1 助成事業代表者

つむぎ通り組合会長 貝瀬幹夫

2 研究助成事業者の名称

つむぎ通りにおける景観まちづくりに関する事業

3 研究助成対象地域

新潟県南魚沼市塩沢のつむぎ通り

(塩沢中央通り線における JR 塩沢駅から三国街道塩沢宿牧之通りまでの間)

4 研究開発の概要

4.1 研究開発の概要

塩沢のつむぎ通りにおいて景観まちづくりの基礎となる景観ルールの策定と地域活性化の拠点となる交流施設の計画を具体化し検討を進めること、及び、景観まちづくりに関する P R 活動を実施することで、今後の継続的な活動の基となり、地域活動の活性化に寄与し、さらにその効果を最大限発現させることで、地域発展の重要な手がかかりとしている「交流人口の増加」を図り、それにより塩沢地域全体が、住み続けられる町となることを目指す。

4.2 研究開発の背景と必要性

旧塩沢町の中心市街地であり、J R 塩沢駅前通りである通称「つむぎ通り」は、人口減少や少子高齢化による空き地・空き家の点在、それらに伴う地域コミュニティの喪失が課題となっている。一方、直交する「三国街道塩沢宿 牧之通り」は、街路事業を契機とした景観まちづくりに成功し、今では多くの観光客が訪れているが、つむぎ通りへの回遊はあまり見られない現状にある。

つむぎ通りにおいても、つむぎ通り組合の前進となる、つむぎ通り町づくり実行委員会において 10 年以上のまちづくり活動を経て、官民で連携をし、街路事業を契機とした景観まちづくりを成功させ、また、地域でめざす内外の交流人口を増やすことで、塩沢地域全体の魅力・

価値を上昇させ、地域活性化及び住み続けられる地域になることを目指す。

4.3 研究目標

4.3.1 景観ルール住民合意による形成

より良い具体的な景観ルールづくりを行うため、先進地視察や専門家への講師依頼を行う。また、街灯やライトアップの方法などを検討し、実際に実証実験を行う。

4.3.2 地域交流拠点施設の建築移転の基本計画検討

地域の集会所の建替えに合わせ、地域の交流拠点施設として整備したい。そのために、必要となる機能とその費用を具体的に検討し、地域住民に説明するため資料作成等を委託する。

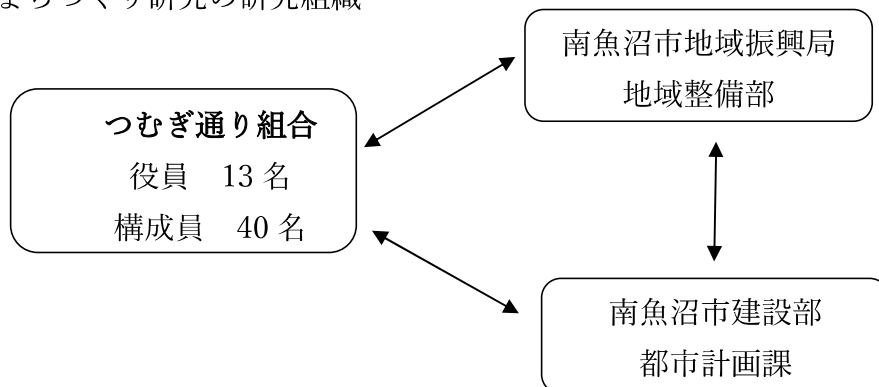
4.3.3 景観まちづくりの事前周知活動

10 年以上継続している通年の地域活性化活動「軽トラ市」において地域の交流人口を着実に増やしてきた。今後の景観まちづくりの実施に関する P R 活動を今の段階から織り込み実施することで、これまで培い育ててきたこの地域のファンに期待感を持たせ、完成後の交流人口増加を図り、景観まちづくりの効果を倍増させる。

5 研究の具体的内容及び成果

つむぎ通り組合は組合員 40 名から構成され、組合長 1 名、副組合長 2 名、幹事 7 名、会計 1 名、監事 2 名の合計 13 名の役員を中心としてまちづくりの検討を進めており、南魚沼市地域振興局地域整備部と南魚沼市建設部都市計画課と連携して問題点や課題を明確にしながら活動を行ってきた。

まちづくり研究の研究組織



5.1 景観ルール住民合意による形成

景観を検討するに際して先進地視察先の、糸魚川駅北復興まちづくりの大火災復興通り、新発田の電柱地中化などが参考となった。

つむぎ通りまちなみ形成基準として、「建築物の基準、建築物以外の基準道路計画線まで後退している既存建物の扱い、審査委員会への確認、相談」が別紙 “景観形成基準 景観協定の主な項目”の内容で合意された。

先進地視察の実施

		
糸魚川	出雲崎	新発田

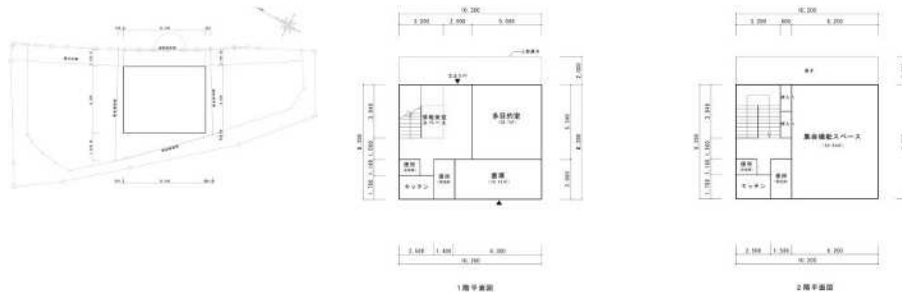
つむぎ通りの街路灯は、LED 街路灯照明であり防犯面で十分な明るさを確保している、道路拡幅で既存 LED 街路灯照明は撤去されるため、道路及び雁木下を照明できる機能が求められる。つむぎ通り組合は、駅通り街路灯委員会会員と協力して街路灯の検討を行い、令和 4 年 12 月 26 日 夜雪が降る中において LED 街路灯照明サンプルを用いた実証実験を実施した。照明の色合いや明るさ、雁木下の照明について十分な機能を有することを確認できた。

	
LED 街路灯照明高さ検討	間接照明

5.2 地域交流拠点施設の建築移転の基本計画検討

塩沢三分区の住民が交流できる拠点及び塩沢駅を利用する学生及び観光客の活用を考慮した交流拠点として以下の内容を検討した。

- ・既存の三分区会館と同等の広さ確保（打合スペース、倉庫の確保）
- ・冬の雪害対策としての屋根融雪
- ・建築費用の概算見積もり



詳細は、“地域交流拠点としての施設整備検討業務”報告書を参照

5.3 景観まちづくりの事前周知活動

つむぎ通り景観まちづくりの一環として、塩沢つむぎ通り軽トラ市をホームページを更新して広報し、つむぎ通り軽トラ市を5月から11月まで7回実施した。つむぎ通りかわらばんを発行して、第3号では“まちなみ景観形成審査委員”、“用地、建物調査結果の個別説明”、第4号では“糸魚川、出雲崎、新発田の視察・研修会”の活動報告が実施された。

つむぎ通りの変遷、塩沢の織物の歴史などの講演により地域の歴史認識が深まった。さらに歴史に関する小冊子を作成したことにより、今後の広報活動に利用可能である。

また、塩沢牧之通り青年部により、牧之通りの歩みについて講演が行われた。組合規約、取り組み実績など様々な問題点や課題解決に向けた活動など、つむぎ通りのまちづくりに対しての貴重な情報が得られた。



“つむぎ通り”の変遷 講演



塩沢の織物 講演

6 今後の取り組み

6.1 景観ルールの実施運用

景観形成基準関連において、雁木床仕上げの方法決定、雁木構築の指定業者の選定、
街路灯を歩道に構築するか、雁木下に構築するかの検討の基本方針を決定して、構築費用および運用費用を確認して予算化を進める。

6.2 地域交流拠点

三分区の建設委員会による規約作成と建設計画作成及び助成金の確保のための令和6年度コミュニティ助成事業への申請活動
地域交流拠点建設後は、住民に広く開放してコミュニティ形成の場として活用していただく。

6.3 景観まちづくり

つむぎ通り軽トラ市を継続的に実施し、定期的に賑わいを取り戻す。
地域交流拠点において、塩沢の歴史や織物などの発信を行っていく。

別紙 1

活動報告

事業の取組実施（つむぎ通りの景観まちづくりに関する定例会）

	開催日	会合名	打合せ内容
1	R4/4/14	定例会 (第 4 回) 役員会	(つむぎ通り組合) ・つむぎ通り総会結果報告 ・雁木建築の流れ ・軽トラ市 (市)・地域交流拠点施設について
2	R4/5/12	定例会 (第 5 回) 役員会	(つむぎ通り組合) ・軽トラ市報告(5/1) ・かわらばん第 2 号発行 ・視察先候補 (市) ・地権者詳細説明 ・前回の確認事項
3	R4/6/8	分区分館建て 替え	地域交流拠点としての施設整備検討委託に関する(株)サンワコンとの打合せ (株)サンワコン、南魚沼市都市計画課、つむぎ通り組合
4	R4/6/9	定例会 (第 6 回)	(つむぎ通り組合) ・軽トラ市報告(6/5) ・地域交流拠点のコンサルタントとの打合せ報告 (市)・地権者説明会実施報告 (県)・道路舗装説明
5	R4/7/7	定例会 (第 7 回)	(つむぎ通り組合) ・軽トラ市報告(7/3) ・視察先候補(糸魚川 大火災跡地キターレ) ・地域交流拠点施設のコンサルティング会社との打合せ報告 (市) ・地権者協議の状況 ・つむぎ通り景観まちづくりアンケート配布 (県) 歩道点字ブロック等の説明
6	R4/9/8	定例会 (第 8 回)	(つむぎ通り組合) ・軽トラ市報告(8月、9月) ・視察と地域交流拠点の検討状況 (市) ・地権者協議会の説明 ・市道拡幅計画、今後のスケジュール ・つむぎ通り景観まちづくりアンケート結果報告 (県) ・無電柱化の現地立ち合い報告
7	R4/10/13	定例会 (第 9 回)	(つむぎ通り組合) ・軽トラ市報告(10月)NHK BS 撮影 ・視察先・時期連絡 ・地域交流拠点検討状況 (市) 地権者協議会説明：日程と税の控除関連 (県) 県の予算化を検討中
8	R4/10/24	地域交流拠点	三分区分館建設準備委員会 参加者 5 名(三分区役員 3 名、つむぎ通り組合 1 名、三分区住民 1 名) ・つむぎ通り景観まちづくりに関する進捗状況説明 ・新会館に関する事項 建設準備金、保証金概算額、コミュニティ助成事業
9	R4/11/17	役員会	・つむぎ通りまちなみ景観形成規定の一部改正 ・雁木建築の流れ等の周知 ・“歴史講演=戦国時代の山道や三国街道などについて”の開催説明 ・先進地視察の日程、参加者報告
10	R4/11/20- 21	先進地視察	先進地視察(つむぎ通り組合役員、三分区役員 合計 8 名) ・糸魚川大火災復興地：防災、地域交流拠点 ・出雲崎：妻入り屋根の町並み ・新発田：電柱地中化等整備地域
11	R4/11/30	歴史講演	つむぎ通りの変遷 笹木孝雄様 第 1 回公演「上杉謙信が通った道」
12	R4/12/7	歴史講演	つむぎ通りの変遷 笹木孝雄様 第 2 回公演「飛脚と縮の荷物が行き交う」

別紙 1

13	R4/12/8	役員会	・ 雁木建築の周知の流れについて ・ 三分区会館の建設について ・ 街路灯（賛光電器 イラスト図紹介）
14	R4/12/22	定例会 （ 第 10 回 ）	（つむぎ通り組合） ・ 軽トラ市報告 ・ 先進地視察実施報告 ・ 地域交流拠点検討状況（市） ・ 区画整理地権者協議完了 ・ つむぎ通り地権者への全体説明会開催予定連絡（県） 換地を考慮した県の予算取り実施予定連絡
15	R4/12/26	街路灯	雁木通りを意図した試作品サンプル照明試験（賛光電器株） 照明色合い、照度、雁木照明など検討
16	R5/1/12	定例会 （第 11 回）	（市） ・ 個別同意の状況報告 ・ 全体説明会(1/18)の内容確認・打合せ
17	R5/1/18	全体説明会	つむぎ通りの景観まちづくりに係る説明会（第 6 回） 1. 事業説明(市・県) 2. 景観まちづくりに関する説明（つむぎ通り組合） 3. 土地区画整理事業の同意に係る説明 4. 同意書の記載について
18	R5/2/9	定例会 （第 12 回）	（市） ・ 同意及び事業認可について ・ 事業認可後について ・ 今後の流れ （つむぎ通り組合） ・ 景観形成基準について ・ 地域交流拠点施設（三分区会館）について ・ 街路灯の検討状況 ・ 講演会について
19	R5/2/15	歴史講演	塩沢の織物を語る 桑原 博様
20	R5/2/22	まちづくり講演	牧之通りの歩み ・ 牧之通り規約、牧之通り組合の活動情報 ・ 雁木の苦労話 牧之通り青年部 上村篤嗣様、井口岳夫様
21	R5/3/9	定例会 （第 13 回）	